



ゆづりは

堺市立図書館だより

第20巻 第2号 (通巻75号)

発行日 令和7年9月10日

編集・発行 堺市立中央図書館

〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1

電話 072 (244) 3811

FAX 072 (244) 3321

https://web.d-library.jp/SKI01/g0102/

libcontents/search/?gid=1025



▲電子版

「令和7年度 さかいこども司書養成講座」開催

「こども司書」とは、身近な人に本や読書の楽しさを伝える読書リーダーのことです。今年も各館で養成講座を実施し、図書館についてたくさん知ってもらいました。

【中央図書館】

カウンター体験やレファレンス（調べもの）体験など、3日間さまざまなことに取り組みました。最終日にはおすすめ本を紹介しあうビブリオバトルを実施。とても盛り上がりしました！



【中図書館】

レファレンスや絵本の読み聞かせなどを体験しました。POPづくりにも挑戦し、完成したPOPは本とともに館内に展示しました。手に取って、読んでみたいと思える素敵な作品となりました。



【東図書館】

図書館のしくみや司書の仕事について学んだあと、レファレンスに挑戦！いろいろな資料を使ってグループで協力して回答しました。他にもカウンターのお仕事や、絵本の読み聞かせなどを体験しました。



【西図書館】

POP作りでは、どうおすすめするか悩みながらも納得がいくまで真剣に取り組みました。おはなし会では、手遊びや大型絵本の読み聞かせを堂々とやりきり、参加してくれたこどもたちは絵本の世界に引き込まれていました。



【南図書館】

カウンター体験を行ったほか、おすすめ本の紹介文やPOPを作成しました。レファレンス体験では、新聞縮刷版から自分の誕生日の出来事を探して、記事に出てくる言葉を百科事典や図鑑で調べました。



【北図書館】

百科事典の使い方・調べ方を学びました。その後、実際に事典を使う都道府県陣取りゲームに挑戦！4チームに分かれて、一生懸命答えを探し、とても盛り上がりました！



【美原図書館】

本を使った調べものに挑戦しました。図書館の本の並べ方について学んで、調べたい分野の棚へ。答えがわかる本を探しました。また、読み聞かせについて学んだり、おすすめの本のPOPを作ったりもしました。



目次

- ・「令和7年度 さかいこども司書養成講座」開催 …1
- ・この本で解決！ 「身近な植物に関する質問」 …2
- ・戦後80年ブックフェアを開催しました …2
- ・シリーズ堺の〇〇「第一室戸台風」 …3
- ・「堺ライオンズクラブ」様から電子図書館コンテンツをご寄贈いただきました …3
- ・司書のイチ押し 『あかるい花束』 …4
- ・堺市立図書館電話番号一覧 …4

ゆづりは

とは…

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人河井醉茗氏の歌碑があります。

年ごとに
ゆづりゆづりて
譲り葉の
ゆづりあとに
また新しく



この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だより「ゆづりは」と名づけました。

バックナンバーは

こちらから▶





身近な植物に関する質問

図書館に寄せられた様々な質問と回答を紹介します

少しずつ秋が近づいてきました。道端の植物や花の香りで季節の移ろいを感じることもあるのではないのでしょうか。

今回は身近な植物に関する質問を紹介します。

Q キンモクセイとギンモクセイの違いはなんですか？

A 『樹に咲く花 合弁花・単子葉・裸子植物』では、キンモクセイとギンモクセイについて写真つきで説明されています。この本によると、キンモクセイはギンモクセイの変種で葉はギンモクセイよりやや薄く、小型で細長くなっ



『樹に咲く花 合弁花・単子葉・裸子植物 改訂第3版』
茂木透／著
山と溪谷社 2003

ており、花の色はギンモクセイが白、キンモクセイが橙黄色で、花のつき方はキンモクセイが固まってついているのに対し、ギンモクセイはまばらについていることがわかりました。また、花の香りも

キンモクセイは強く、ギンモクセイはキンモクセイほど強くないとありました。キンモクセイの甘い

香りで秋を感じる方も多いのではないのでしょうか。他にも『散歩の樹木図鑑』にはキンモクセイの仲間として、ヒイラギモクセイについても写真付きで説明されています。

植物に関するレファレンスでは、実際の植物やスマホで撮った写真を持ってこられ、「この植物はなに？」という質問を受けることもあります。

同定するのは難しいこともありますが、『葉形・花色でひける木の名前がわかる事典』や『形とくらしの雑草図鑑』で葉っぱの形や特徴から探したり、『野草の名前』でその季節に生息している植物を見てみたりと、様々な資料を参考に調べます。また最近では、スマホで撮った写真をインターネットで検索できる機能もあるので、その情報を元に資料にあたることもあります。

(中央図書館 レファレンス担当)

【参考文献】

- 『樹に咲く花 合弁花・単子葉・裸子植物 改訂第3版』茂木透／著 山と溪谷社 2003
- 『散歩の樹木図鑑』岩槻秀明／著 新星出版社 2013
- 『葉形・花色でひける木の名前がわかる事典』成美堂出版 2002
- 『形とくらしの雑草図鑑 新版』岩瀬徹／著 全国農村教育協会 2016
- 『野草の名前 秋冬』高橋勝雄／写真・解説 山と溪谷社 2003



戦後80年ブックフェアを開催しました

令和7年(2025年)は、先の大戦の終わりからちょうど80年の節目の年です。図書館では、7月から8月にかけて中図書館・西図書館でのブックフェアや各館でのミニブックフェアを開催しました。

中図書館では9月30日まで平和と人権資料館と連携し、「戦後80年 平和を次世代へ」を実施しています。大人向けブックフェア「ブックラリーにおすすめ本」のほか、展示を見てクイズに答える「クイズラリー」、本の感想や次に読む人へのメッセージを書いてつなげる「ブックラリー」を開催中です。ぜひご参加ください。(中央図書館 企画情報係)

ブックフェア・イベントについてはこちら→
ブックリストも掲載しています。



↑中図書館「戦後80年 平和を次世代へ」の様子

シリーズ **堺**
の00

第一室戸台風



高潮に沈む大浜地区の日本航空輸送研究所の様子
（『堺市風水害誌』より）

今から 91 年前の 1934 年（昭和 9 年）9 月 21 日、日本に第一室戸台風が到来しました。堺市には直接は上陸しませんでした。大阪湾を通過する台風により高潮の被害を受けました。



被災後の三宝地区の様子（『堺市風水害誌』より）

特に三宝地区の被害が大きく、3～3.6メートルもの浸水となりました。浸水開始から浸水最高時までにはわずか10～20分ほどで、退避する余裕がなく、多くの命が失われました。



阪堺電鉄（後の大阪市電阪堺線）三宝車庫の様子
（『近畿大風水害写真画報』より）

堺市の死傷者・行方不明者は死者 424 名、重傷者 503 名、軽傷者 165 名、行方不明者 13 名の計 1,105 名にも上りました。1934 年版の『堺市勢要覧』によれば、前年の時点での人口が 126,524 名ですので、1% 近くになります。その他に施設としては、三宝小学校や堺市庁舎、堺水族館等も被害を受けました。

災害後、市内各地で法要が営まれました。堺市役所としては、被災から 1 か月後の 10 月 21 日に堺水族館庭園にて風水害遭難死者追悼祭を執り行いました。



10 月 21 日の追悼祭の様子
（『第一室戸台風風水害遭難死者追悼祭場写真』より）

また災害から 2 年後には三宝地区に慰霊塔が建設されました。その後、三宝地区を中心に急速に復興が進んでいきました。復興事業が終了したのは、新市庁舎完成時の 1944 年（昭和 19 年）3 月 25 日と、実に約 10 年後のことでした。しかし、これらもまた翌年の堺大空襲により被害を被るのでした。

【参考資料】

- ・『堺市風水害誌』 堺市 1936
- ・『堺市史 続編 第 2 巻』小葉田 淳／編集 堺市役所 1971

（中央図書館 地域資料担当）

「堺ライオンズクラブ」様から電子図書館コンテンツをご寄贈いただきました

堺ライオンズクラブ様から、今年も堺市立図書館ホームページ上の電子図書館で読める児童・生徒向けコンテンツをご寄贈いただきました。

今回は日本の歴史や文化等を学ぶことができる本や、大阪・関西万博にあわせ、外国の特色等を知ることができる本など、魅力のあるコンテンツが加わりました。秋は電子書籍で読書を楽しんでみませんか？

（中央図書館 企画情報係）



堺ライオンズクラブコレクション ▶





司書のイチ押し



『あかるい花束』

岡本 真帆／著 ナナロク社

この本は短歌集です。私はこれまで短歌に馴染みがなく、短歌といえば国語科の授業で習うものでした。もちろん、短歌を詠み投稿する人、歌集を出す人がいることは知っています。それでもやはり、私にとってはどこか遠い存在でした。ある日、何気なくSNSを眺めていると、普段は軽快な口調でコミカルな投稿をしている人が、ある短歌を御守として心の支えにしていると紹介していました。その人が静かに抱きしめたものは私の心にも刺さりました。その短歌を取めた本が、今回紹介する『あかるい花束』です。

この歌集に収められた短歌の多くは、作者が日々の暮らしの中で感じた様々な事柄を、まるで動物をなでるときや柔らかいものを崩さずにそと取り出すときの手つきのように繊細に詠まれていました。この作品と出会うきっかけになり、私の心にも刺さった二首を紹介します。

一首目は、「本当に正しかったかわからない決断たちよおいで、雪解け」です。過去の決断が正しかったかわからないという不安を否定せずに、「おいで」と優しく呼びかけています。そして、「雪解け」という言葉によって、今こそが私の雪解けであると言える日が来るまで、時間とともに気持ちがほぐれていく希望が込められていると感じます。

二首目は、「どの道を選んでいても不安という悪魔にあの？なんだ、よかった」です。誰もが持つ不安を「悪魔」と表現し、どの道を選択しても不安は避けられないという現実を、「よかった」と受け入れ、肯定的に捉えることで心を軽くしてくれます。不安を悪いものとせず、「誰もがそ

れを抱えている」という視点を持つことで、安心し、肩の力を抜くことができるのかもしれませんが。

どちらも「選択」や「不安」といった普遍的なテーマを扱っています。私たちは日々、何かを選び、決断しながら生きています。しかし、時間が経つにつれ、本当にこれでよかったのかと不安になることもあれば、選ばなかった方を悔やむこともあるでしょう。だからこそこれらの短歌は、不安の存在を肯定してくれるように思います。

また、『あかるい花束』というタイトルにも、喜びや成功だけでなく、迷い、不安、後悔といった様々な感情を束ねて、ひとつの「花束」として受け入れていくという意味が込められているのではと感じました。何気ない日常の一瞬を切り取り、31文字という限られた中で表現する短歌の、深い感情や共感を呼び起こす力に驚かされます。難しい言葉を使わずとも、「見たまま、感じたまま」の等身大の言葉が、まっすぐ心に届きます。

その語り口に、自らの心を重ね、まるで自分のことが詠まれているかのような錯覚すら覚えます。悩みながらも、それでも前を向いて生きようとするすべての人にそと寄り添い、「だいじょうぶ」と背中を押してくれるような、静かだけれど確かな力を持った温かいエールが感じられる一冊です。(H・N)



『あかるい花束』
岡本 真帆／著
ナナロク社 2024

堺市立図書館電話番号一覧

中央図書館	244-3811	西図書館	271-2032	人権ふれあいセンター船松人権歴史館	
移動図書館	244-3811	南図書館	294-0123	人権資料・図書室	245-2534
堺市駅前分館	222-0140	梅分館	296-0025	青少年センター図書室	228-6331
中図書館	270-8140	美木多分館	296-2111	図書館カウンター堺東	232-1011
東百舌鳥分館	234-9600	北図書館	258-6850		
東図書館	235-1345	美原図書館	369-1166		
初芝分館	286-0071				



▲図書館 HP

<https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/>